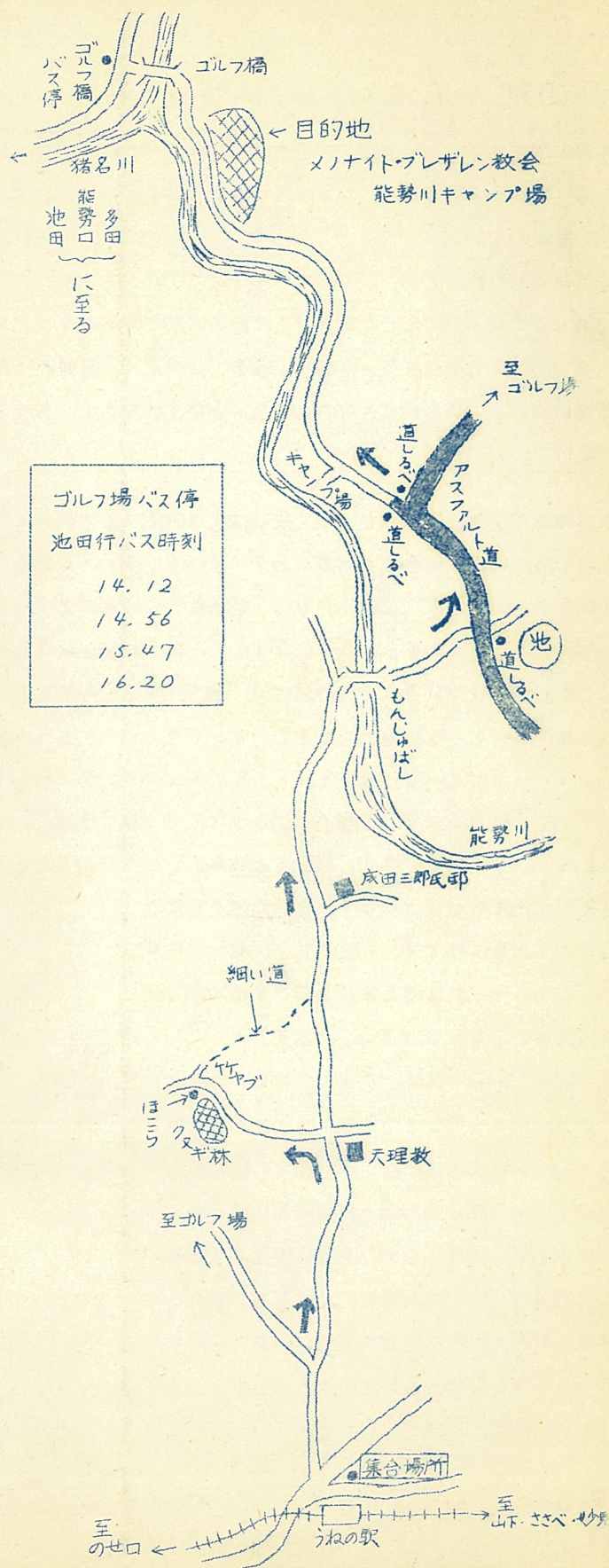


大阪市立自然科學博物館

デキスト



自然のぜんたいのようすをみよう

採集会を開きますと、参加した人たちは、手あたりしだいに草を引き抜き、枝を折り、また虫を捕えてきては、名前を指導者にたずねます。そして名前をきくだけで満足し、その生物の生活のようすを聞くことしません。

いくつかの名前を覚えても、自然のようすを知ろうとしません。「シカ追う猟師は山を見ず」というたとえがありますが、このたとえを実行している人が大部分のようです。名前を知る魅力にだけとりつかれている……こんな人が多いのです。都会とはなれて、能勢の山野にやってきたのです。足もとばかりを見つめないで、自然のぜんたいのようすを見まわしましょう。

能勢の林

森や林のつくりを見てみましょう。森や林には自然にできあがったものもあれば、人手によって植林したものもあります。それぞれ特徴があり、そのつくりをよく見ると、森林をつくっている植物相互の密接な関係がわかります。このあたりは、有名なワリの産地です。また木炭づくりも盛んです。そのため、殆どどの山は人の手が入っていますので、自然に発達した自然林は非常に少なくなってしまう。しかし、神社やお寺の境内の林には、自然林が多いものです。

それぞれの林がどんな階層からできているかを見てみましょう。高木層、低木層、草本層などに分けてみましょう。それぞれの層にはどんな木や草が含まれていますか。

マツ林……日本はマツの国といわれるほどマツ林が各地にあります。この能勢にもマツ林がたくさんあります。マツは陽生植物で、乾燥地を好み、やせている土地でもよく生育します。草原を放置すると、だんだん森林が形成されますが、初めはまずマツ林になることが多いのです。一般に新しい林や、人手の加わりやすいマツ林は低木層が貧弱ですが、古いマツ林は低木層や下草がよく茂っています。

雑木林……この林は、ナラ・クヌギ・クリなどのように切株から芽が出て、それによって林をつくる力の大きい木が主体になっています。陽生の木が多いので、マツ林と同じように草原から林になる初期にできます。切株から出た芽は初年度で50cm以上も伸びるので、木本が優勢になります。しかし苗を植えた時は、初期の発育がおそいので、下刈りをしないとクスなどのツル植物によって苗がおさえられてしまいます。



雑木林のメンバー

虫を捕え
うすを聞

というた
とりつか
もとばか

って植林
動物相互の
す。その
くしまいま

などに分けて

ノ林んたぐさ
を放置する

高木層

低木層

草本層

草層

葉は上から1/3くらいのところ
が いちばん はばがひろく、
しりすぼみの形をしている

コナラ

葉の両がわは ほぼ
平行していて、
細長い形をしている

虫ばい花

今年のびた新しい枝

めばな(のあつまり)

[10月]

めばな
(のあつまり)

おはな
の穂

めばな
のあつまり

去年のびた古い枝(斜線)

[4月]

ナラガシワ

おはな
の穂
(花粉が散ってしょうと
しおれておちる)

風ばい花

[4月]

クヌギ

若いどんぐり
[来年の4月]

[来年の10月]

[6月]

クリ

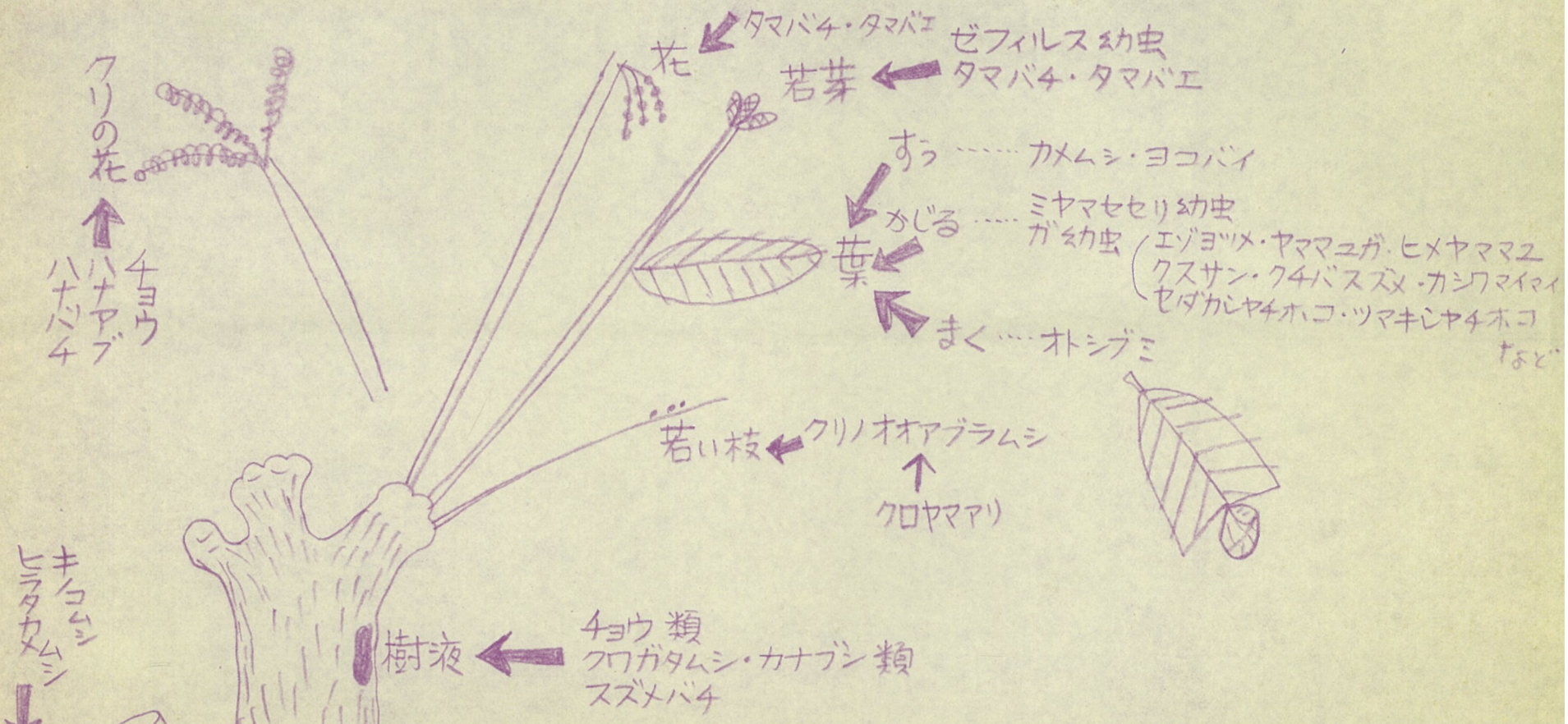
[10月]

能勢の初夏のチョウ

	アゲハチョウ科	シロチョウ科	シジミチョウ科
樹液とすう			
ク リ の 花 蜜 を す う		<ul style="list-style-type: none"> ●モンシロチョウ スジグロチョウ ●エゾスジグロチョウ 	<ul style="list-style-type: none"> ウラゴマブラシジミ ●アカシジミ ●ウラナミアカシジミ ●ウラキンシジミ ミズイロオナガシジミ ウラミスジシジミ ●ミドリシジミ オオミドリシジミ ウラジロミドリシジミ ヒロオビミドリシジミ トラフシジミ ムラサキシジミ ベニシジミ ●ルリシジミ
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ジャコウアゲハ アオスジアゲハ アゲハ キアゲハ フロアゲハ オナガアゲハ カラスアゲハ 	<ul style="list-style-type: none"> キチョウ ツマグロキチョウ モンキチョウ スジボソヤマキチョウ 	<ul style="list-style-type: none"> ヤマトシジミ シルビアシジミ ツバメシジミ ウラギンシジミ

●印は 確認したもの

	タテハチョウ科	ジャノメチョウ科	セセリチョウ科
樹液をすう	●シータテハ ●キクテハ ●ルリタテハ ヒオドシチョウ ●コムラサキ ●オオムラサキ ●ゴマダラチョウ ●スミナガシ	●キマダラヒカゲ ●ヒカゲチョウ ●クロヒカゲ クロヒカゲモドキ	
クリの花蜜をすう	イチモンジチョウ アサマイチモンジ ●ゴミスジ サカハチチョウ ●アカタテハ ●ミドリヒョウモン ●クモガタヒョウモン ●メスグロヒョウモン ●ウラギンヒョウモン オオウラギンヒョウモン ●ウラギンスジヒョウモン オオウラギンスジヒョウモン ツマグロヒョウモン	●ヒメウラナミジャノメ ウラナミジャノメ	アオバセセリ ダイミョウセセリ
その他	テンブチョウ アサギマダラ	ジャノメチョウ コジャノメ ヒメジャノメ	コチャバネセセリ チャバネセセリ オオチャバネセセリ イチモンジセセリ キマダラセセリ



ナラ・クリをめぐる 昆虫たち

